

# 特別委員会委員長報告

3月定例会における特別委員会からの報告を掲載します

## 行財政改革推進特別委員会

本市の入札制度は

競争性、公平性、透明性を担保し、品質の確保、中小企業保護・育成も踏まえて構築されている。入札参加者は必要な資格審査を受ける。市内業者のラン

組み推進すべき」との答弁があった。

児童クラブを行政視察

香南市の直営のクラブは、指導員は全て臨時職員であるが、十分な配置がされている。各クラブの保護者負担金は同額。施設整備は順調である。雇用が不安定、リーダー不足、事故・災害時の対応に問題はありますが、直営ならではの十分な運営ができています。



平成28年度制限付一般競争入札、指名競争入札で実施した建設工事の総額は28年12月末で23億円余りで、落札率87%になる。今後の入札で不調にならない打開策は、との質疑に「早めに設計して発注する。また、事業課が事業量、事業規模を勘案して、余裕のある年間工程を

一方、委託のクラブ

については、保護者会の役員が毎年替わり、円滑な運営が困難であり、会の負担が大きいなど、直営を望む声が多いということであった。

南国市のクラブは、

その全ての運営を南国市学童保育連絡協議会が委託を受けていて、

## 定住人口増加促進特別委員会

都市計画について

権限移譲については、いずれは受けなければならぬという認識のもとで、それに向けた今後の体制づくりが課題となる。

等を行った。

NPO法人いなかみ

「人と自然が優しい田舎」の冊子をもとに平成28年度の取り組み、平成28年度の移住目標を、また、3つの課題整理として、①移

市がやりたいもの、中心となるものが何かあれば、地区計画等で開発審査会に諮ることもできると認識しているとの説明を受けた後、質疑・意見交換等を行った。

移住・定住の現状について

「香美市の移住定住推進について」の冊子をもとに「香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた移住促進の目標と目標達成に向けた主な取り組みについて説明を受けた後、質疑・意見交換

を行った。本市においては、現在の指定管理の状況に多くの問題があり、統一された運営を目指すべきである。保護者、指導員の話も聞き、市長への提言につなげていく。

